

# 報 恩 寺 だ よ り

昭和58年3月20日

神奈川県綾瀬市寺尾南2-10-1

おたすけ観音 報 恩 寺

電話 0467-78-7160

## ◎開山忌、大般若祈禱会勤修について

御開山、朝岩存夙大和尚の報恩法要と、17日はおたすけ観音の縁日ですので、大般若祈禱会を次により行ないますので御参詣下さい。

### 記

1. 期 日 4月17日(日)
2. 日 程 午後1時 開山忌法要  
午後1時半 大般若祈禱会  
午後2時～3時 法話 阿部圭佑老師(大井町大通寺住職)  
午後3時 小 斎

・香資(2,000円)は当日御志納お願いいたしたく存じます。

## ◎敬う気持を大事にしよう。人はみな佛の子。

修證義に「深く佛法僧の三宝を敬ひ奉るべし、生をかえても三宝を供養し敬ひ奉らんことを願うべし。」と記されています。佛教を修行するには三宝を敬う事が大切であると云う事です。佛はお釈迦様等の佛様であり、法は經典に書かれている教へであり、僧は佛教を修行する人達の集りを云います。

お釈迦様の教へは「人はみな佛の子」の人間観に貫かれています。人はだれでも修行すれば、佛様になれる可能性を持っていますので、人はたがいに相手を敬い畏れ愛する心情を持たなければなりません。毎朝佛壇におまいりし、合掌して食事をいたゞくと云う敬虔な作法によって、いつか尊ぶべきものを尊ぶ敬虔な情操が養れます。

## ◎庫裡建築費18両(報恩寺古文書)

石庫裡請負一札

一梁間

但云

一桁行

別紙

若干

石庫裡請負請書

任力

早送

月送

此

文

由

天保十一年七月

中野

伊

日

有

世

繁

報恩寺

河

天保10年(1839)の工事請負契約書です。五間×十間、五十坪の庫裡を二年四ヶ月の工期で、18兩と玄米18俵の工費で作ると云う契約書です。

材料費は別と考へられますが、請負額が少ない様で、大工さんは大変だった事でしょう。別の報恩寺古文書に、大本山総持寺への報恩寺の寄付金が記されていますが、10兩でした。

◎特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に、供養菩提の御冥福をお祈りいたします。

武藤雄司	森山茂	小山田重雄	奥津好枝
柏木行雄	山下格三	近藤勇	笠間良二
早川高義	橋川裕	黒沢清	川上誠志朗
早川照由	山口悦功	大塚藤男	山口三郎
近藤喜一	山下重雄	中西ふみ	笠間一夫
加藤元治	梅田セキ	森山直	早川敏雄
笠間昭和	早川新吾	笠間貞夫	森山正夫
山口静雄	高島夏野	黒瀧ミエ	戸井田治三郎
和田尚樹	小山昇	早川喜実	橋川寛